

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

昨今、地球の人口増から、食料やエネルギー不足や温暖化が問題視されています。プラスチック代替素「材modo-cell®」をもって、食品残渣などの利用と石油使用を軽減することで、食物とエネルギー不足の解消し、世界に貢献したいと思っています。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	原料となる竹を放置竹林を整備する際に発生した竹を利用している。	さらなる竹林整備に貢献したい。 2023年度実績2000本/年。 2026年度目標14000本/年標
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	放置竹林整備の際に発生する竹を原料としたストローの製造・提供といった、地産地消に取り組む。	2023年度実績500万本/年・ 2026年度目標12.650万本/年
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	代替プラスチックに限定しない竹の有効活用(竹チップを利用した農作物の育成)を実験する。	竹チップを利用した農作物の育成実験 2023年、農業で試験実施→ 2026年畜産業で実施

<パートナーシップ>

放置竹林問題を解消すべく整備で発生する「廃竹材」や、工場・農業から発生する「残渣」も同様に活用出来る。株主の工場残渣を用いた試験も実施・実績があり、商品化へ向かっている。今まで燃焼処分していた物質(工場残渣)が代替プラスチックの原料となる。子どもたちに環境問題に触れてほしいとの思いから、小中学校にストローを寄贈した。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	自社開発のプラスチック代替素材、製品の製造	年間700トンの素材、製品製造	各成型メーカーにて60件以上の試作を実施し、販売の目途は立った。
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域の竹材、植物繊維の活用	年間400トン以上を活用する。	ストロー以外の成型品の販売については、まだまだ実績に乏しい
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	年齢、性別を問わない採用の実施	2021年度、数名の採用を予定	定年制度を設定していない。県内で20名の採用をしている。

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。